

毎号 **リレー形式** で江田島市内で活躍する人やお店を紹介！

人生の後半は、
夫婦と一緒に、
『好きなこと』を。

能美町・中町

トーチ
整体屋さん **TORCH**
ちづちゃんのグルテンフリーおやつ屋さん

Vol.19



ETAJIMA
GoON!
エタジマゴーオン

能美町中町に、それぞれ好きなことを職にして活動をしている夫婦がいることを知っていますか？気持ちの良い空間で施される丁寧な整体が好評な夫、可愛いキッチンカーで体を気遣ったお菓子を販売する妻、二人で人生を楽しみながら活動する西森夫妻にお話を伺いました。

整えるお手伝いを 「整体屋さん TORCH」

西森暢治（にしもり・ようじ）さんは2022年1月、自宅の一角に「TORCH（トーチ）」をオープン、整体師として活動している。小さい頃からスポーツが大好きだったということもあり、大学の時には体や健康について学ぶ『健康科学』を専攻し、スポーツクラブでトレーナーをしていたという経験もあるそうだ。「そのうち、トレーナーは選手が怪我をした時に『治す』という職種ではないので、どこかを痛めた時にも対処できるよう、理学療法士とか整体師に興味を持ち始めて。自分ができる範囲は整体師かな？と思って、その頃から整体師になるための勉強を始めました」

その後、学びたいと思う整体の流派にも出会い、勉強を重ねた暢治さんだったが、結婚のタイミングや今後の生活のこともあり、整体師の道には進まず、就職を選ぶことにした。「自分の経験を活かして病院に勤めていたのですが、基本は総務での事務職だったので、もちろん患者さんとしつかり向き合う仕事ではありませんでした。だから、ずっと整体師になりたいという思いを持ったまま病院で働いていましたね」整体師になるという夢を持ちながらも、真面目に病院で働いていた暢治さんだったが、昨年ついにキャリアアチェンジをするタイミングが訪れる。「夢はあきらめていなかったのですが、定年後に整体師になろうと思っていたんですが、ふと『体力的にも、果たして僕は年を取ってから整体師としてやっていけるのか？』と思ったんですよ」突然頭に浮かんだ疑問。側で見ていた妻の千鶴さんも共感、ついに背中を押した。「もちろん決断するのは本人ですが、結

婚する前から整体師として活動したいという思いを聞いていたので、兼ねてからの夢を叶えていこう！という話をしました。家族のために一生懸命働いてくれていましたし、やっぱり体力的にも気力的にもしんどそうな瞬間をたくさん見てきたので。私は、暢治さんの長年の夢を叶えてほしいなと心から思いましたね（話・千鶴さん）「職場や仕事が嫌だというわけでは決してなかった。充実した環境の中で逆にきっかけをもらい、ついに憧れの整体師として活動をする決断をしたという。」

暢治さんはTORCHで、体を『治す』のではなく『より生活しやすくなる』ことを目的として整体を行っている。「お客さんは基本的に口コミだけ。20代から80代の方まで、体のあらゆる悩みを持った幅広い年代の方が来てくれます。屋号は名前の通り『松明（たいまつ）』から。体を整えるお手伝いを通して、皆さんの足元を照らせるような、そんな存在になりたいですね」

大きく言えば、島の人全員の体のサポートがしたい、お世話になった人へ恩返しをしたいと意気込む暢治さん。千鶴さんも「本当に嬉しそうに活動する暢治くんの姿が見れて、私まで嬉しくなるんです」と言うように、暢治さんはとても晴れやかな表情で、嬉しそうにTORCHへの思いを話してくれていたのが、とても印象的だった。

開業は、幸せな卵、がきっかけ
「ちづちゃんのグルテンフリー
おやつ屋さん」

妻の千鶴さんは、9月から体を気遣ったお菓子の販売を始めた。元々コ



（左）整体は2階への吹き抜けが気持ちの良い素敵な空間で施術を受けることができる
（右）千鶴さんのセンスが光るキッチンカー。お洒落で体に優しいお菓子をぜひ

ロナ禍前から自宅での英会話教室を開いていた千鶴さんは、横で生きいきと活動をする暢治さんの姿を見て、新しい事に挑戦したいと思うようになった。何をしようか、何がしたいか、そう考えた時、自然と頭に浮かんだのが『食』だったという。食にハマったきっかけは、千鶴さんが体験した、とても面白い体験からだった。

「コロナ禍前に『カウチサーフィン』という世界中の旅行者を自宅に泊めてあげる制度に参加していたんです。2階をゲストルームにして、たくさん外国人の方々を受け入れていたんですけど、たまたま入れ替わり立ち代わりヨーロッパの人たちが3〜4組ほど連続で泊まった期間があった。その中の一組だったフランス人の老夫婦が私たちに料理を振る舞ってくれたということとで、一緒に島にあるスーパーに買い物に行った時、おばあちゃんが『ハッピーエッグはどこ？』って聞くんですよ」その人が

言う『ハッピーエッグ』とは、ケージに入っていないニワトリが産んだ卵のこと。千鶴さんはその質問に驚くと同時に、ものすごく興味を湧いたという。「もちろん、そんな卵は知らなかったし、ここには無いですよと私が答えたら、おばあちゃんが『Oh...』と言って顔色が暗くなって（笑）。その反応が不思議で、ハッピーエッグのことも気になるし、もっと『食』というものについて知りたくなったんですよ」

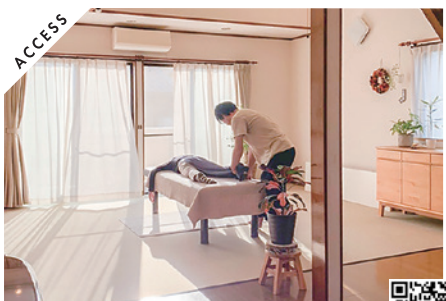
その後、さまざまな角度から食について勉強し、知識を深めていった千鶴さん。中でも、一食に対しての思いが強いヨーロッパの食文化を中心に、見習って材料選びにもこだわることになった。「自分の食卓にもその文化を取り入れたら、家族の便通が良くなったり、アレルギー体質だったのが改善されたんですよ。私だけじゃなく、家族も一緒に実感したことで、そこから食事に対しての気持ちが変わって、もっと一回の食事を大切にするようにしました。そのうちこれを『いらっしやいませ』って言う形にできたらいいなと思うようになって：気づいたら実現していましたね（笑）」家族だけでなく、知り合いや周りの友達にも好評だった千鶴さんの手料理やスイーツ。応援してくれる周りにも後押しされ、千鶴さんはキッチンカーに食への思いを乗せて走っていくことになった。

現在、おやつ屋さんの販売形態は注文とイベント等の出店のみで、米粉を使用した焼き菓子を中心にグルテンフリーのスイーツを展開している。「これからは島だけではなく、さまざまな場所でも『美味しい』を伝えていきたいな」と今後の活動を意気込む千鶴さんが作ったお菓子からは、まさに『ハッピー』な香りがした。



定番のマフィンからグラノーラまで♪体にも心にも優しいスイーツを

千鶴さんの作るスイーツは米粉を中心としたグルテンフリー。アレルギー体質の方や、ダイエット中の方にも楽しんでいただけるようなメニューばかり！さらに、卵やナッツなどのアレルギーに対応したメニューも注文可能。ちょっとした手土産やお供え物にもぜひ。
（※季節によってメニューが変わります。詳細はお問い合わせください）



整体屋さん TORCH

予約必須・ご予約、お問い合わせはLINEから▶▶▶

ちづちゃんのグルテンフリーおやつ屋さん

ご予約・お問い合わせはInstagram DMから。メニューや出店情報なども ▶▶▶ @glutenfreebakedgoodschiz

